

令和6（2024）年1月28日
労働者協同組合周知フォーラム（東日本ブロック）

市民とともに創る 「つくば市のまちづくり」



つくば市長 五十嵐 立青

1 つくば市の概要

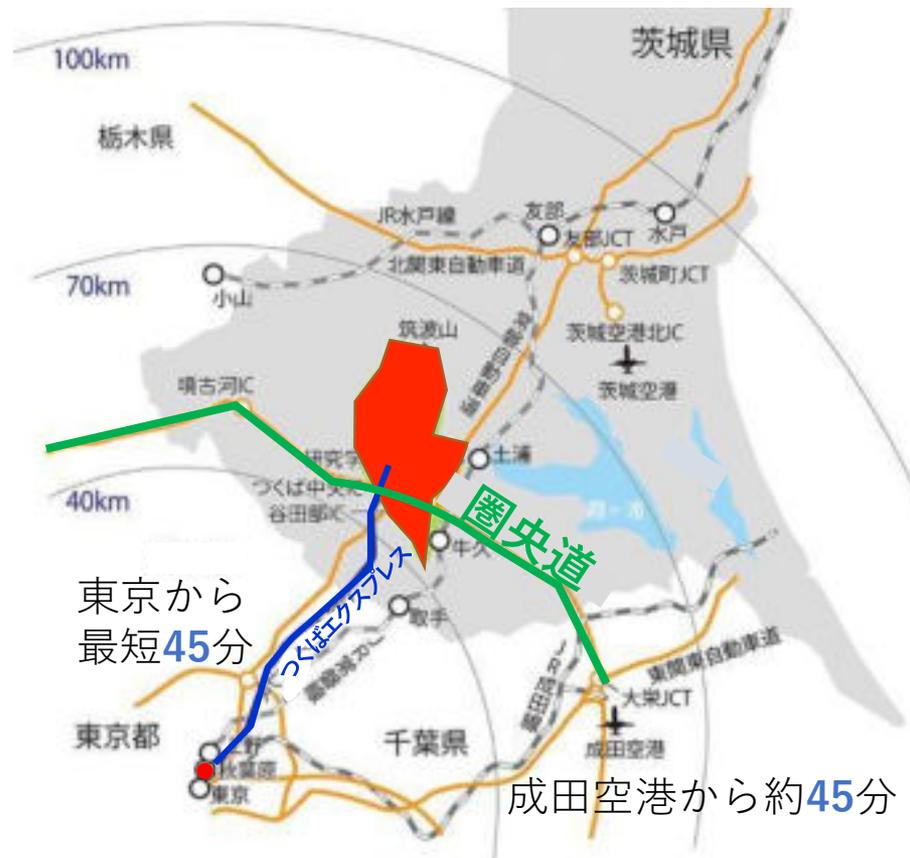
沿革

- ◆1963年 筑波研究学園都市建設を閣議了解
- ◆1980年 研究学園都市概成
- ◆1985年 国際科学技術博覧会(EXPO'85)
- ◆1987年 つくば市誕生(3町1村合併)
その後2町を合併し現在に至る
- ◆2005年 つくばエクスプレス(TX)開業
- ◆2017年 首都圏中央連絡自動車道開通

面積・人口

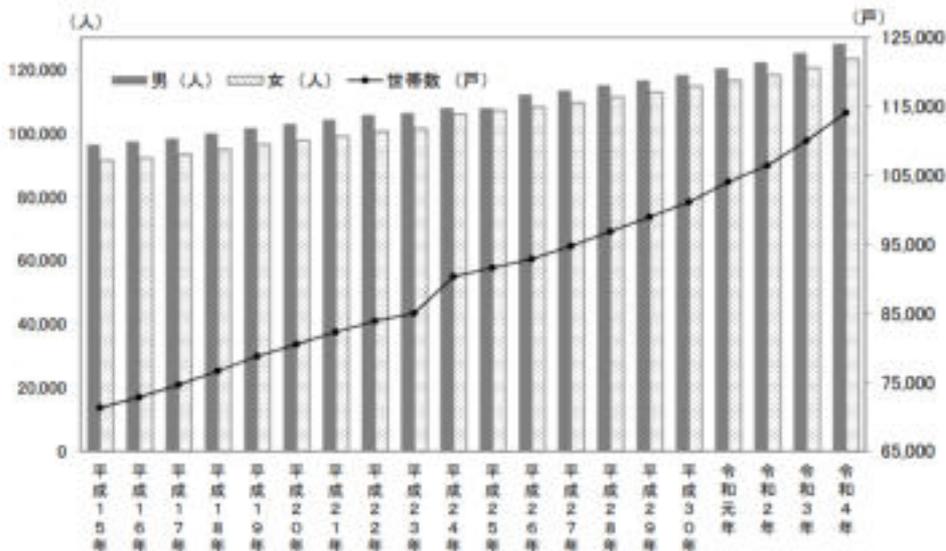
- ◆面積 約283.72km²
- ◆人口 251,208人 (2023.10.1現在 住民基本台帳)
- ◆世帯数 114,092世帯 (2023.10.1現在 住民基本台帳)
- ◆在留外国人 約12,600人/147の国と地域

水戸から南西に約**50km**

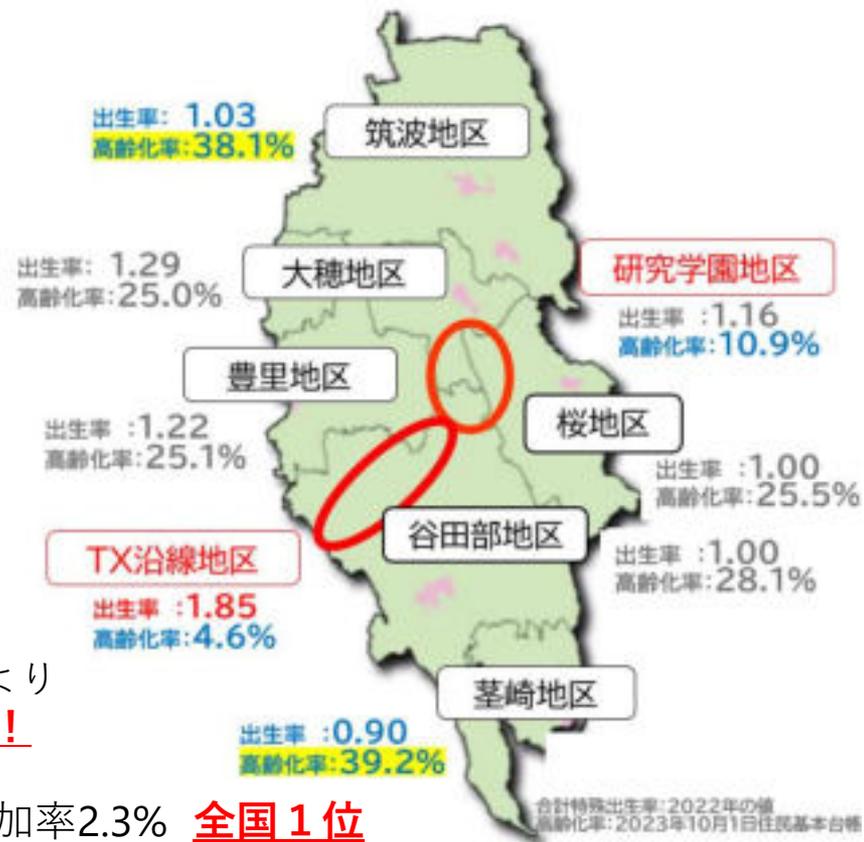


2 地域の特性① (人口構成)

男女別人口と世帯数の推移



合計特殊出生率と高齢化率



- ・ TX (つくばエクスプレス) 沿線の市街地開発等により人口増加が続く。→ **2022年に人口が25万人を突破!**
- ・ 2023年1月1日現在の住民基本台帳に基づく人口増加率2.3% **全国1位**
- ・ つくば市合計特殊出生率 (2022年) : 1.32 (全国は1.26)
高齢化率 (2023年) : 19.2% (全国は29.0% ※2022年)
- **中心部 (TX沿線地区・研究学園地区) と周辺地区の間で高齢化率と出生率のギャップが大きい。**

2 地域の特性②（コミュニティ）

区会加入戸数と加入率の推移



- ・市全体の区会加入戸数は横ばい、区会加入率は低下傾向
2013年度 51.5% → 2023年度 40.3%（毎年度約1%ずつ低下している。）
- ・生活スタイルの多様化や活動参加に対する負担への抵抗感から、新たに形成された市街地において区会の設立が進まない。
- ・高齢化による担い手不足のため、区会加入率が高かった周辺地区の加入率も低下している。
筑波地区：2013年度 78.26% → 2023年度 67.92%
荃崎地区：2013年度 86.33% → 2023年度 68.30%

地域のつながり（コミュニティ）を維持していくことが難しくなる可能性

2 地域の特性③（地域・市民活動）

NPO法人（特定非営利活動法人）数

	人口10万人あたりの NPO法人数
つくば市	55.6
全国	40.0
東京都	64.4
大阪市	49.8
名古屋市	37.4

※2023年8月末時点のNPO法人の認証・認定法人数より作成

気候市民会議つくば2023



- ・地球温暖化（気候変動）対策を市民の対話によって考える取組
- ・参加の意思を表明した市民の割合11.38%（他自治体ではおよそ2.5%）

地域・社会問題の解決のために「何かしたい」と考える市民の存在

3 つくば市の理念

つながりを力に未来をつくる

まちへの愛着や誇りを持ち、
意見を交わしながら自ら行動する市民が中心となった
まちづくりを推進する



持続可能な地域社会を

ともに創る

4 市民協働のまちづくり

アイラブつくばまちづくり補助金



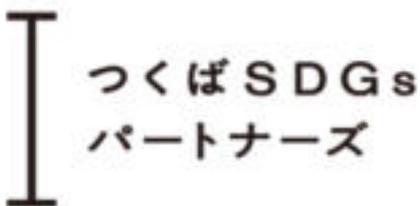
市内外からの寄附を財源に、地域貢献に取り組む「まちづくり活動団体」への最長3年間の補助金制度

2010年からの13年間で325団体へ約3,530万円を交付

周辺市街地の振興



SDGs普及による市民活動の促進



2019年4月に設立
団体会員 176団体
個人会員 473名
※2023年12月時点

SDGs TRY 社会課題解決型 ワークショップ



その他の取組

つくば市版ごみ拾い活動見える化ページの開設



スーパーシティの取組

先進的な技術による地域課題の解決

例：自動追従ロボットによる
高齢者のゴミ出し支援の
実証実験



5 海外の事例① (イタリア ボローニャ市)

地域単位のコミュニティ型協同組合の具体例

きっかけ：山間部に唯一あったバーの廃業



少人数の住民有志が協同組合を設立して
バーの運営を開始

地域に必要な事業を地域の協同組合が担う

○事業領域を徐々に拡大

- ① 学校まで通学できない山間部の子どもたちのためにミニバスを購入して送迎サービスを開始
- ② バーの隣に薬を買いに行けない高齢者のために薬と食品の配送サービスの場所を設置
- ③ 自然公園にビジターセンターを設置
- ④ 農場を売りがっていた高齢者から農場を買取り、羊と牛のチーズを製造・販売する直売所を設置

○行政の関与・支援

エミリアロマーナ州（ボローニャ市がある州）は、初期資金1万ユーロを補助

※ エミリアロマーナ州は地域単位の労働者協同組合支援の条例を制定している。



現在は売上によって自立した経営がされている。

5 海外の事例② (スペイン バルセロナ市など)

バルセロナ市役所の支援



- ・ 行政組織「社会的連帯経済部」の設置
- ・ 労働者協同組合の設立相談、立ち上げ後の運営アドバイス
- ・ 補助金制度
(年間1~3万ユーロ、日本円で160万円~480万円、期限なし)
- ・ 設立当初の労働者協同組合が格安で借りられる施設
「COOPOLIS (コーポリス)」の設置



⇒行政の支援により
労働者協同組合の設立件数が
年間約20組合 → 100組合へ増加

○背景にある考え方：**社会的連帯経済 (社会的経済)**

行政でできることには限界があるが、市場に任せていては解決できない問題がある。



利益を出すことで持続可能な形で経営できる環境をつくる支援をする

つくば市の取組 令和5年度①

労働者協同組合に関する周知・相談事業

協同労働(労働者協同組合)について学ぶセミナー
地域づくりを仕事にしよう

参加無料 各会場参加者 先着20名まで

「自分が住んでいる地域をもっとよくしたい!」「困っている人たちを助けたい!」という思いを仕事にしてみませんか?
 労働者協同組合とは、働く人が出資して組合員となり、組合員一人ひとりの意見を反映させながら運営し、共に働く新しい組織です。組合員が出資・運営・労働を担い合う働き方を「協同労働」といい、多様な働き方により持続可能な活力ある地域づくりを目指します。今年、次のセミナーを開催しますので、ぜひお申込みください。

【労働者協同組合の概要】

11/7 ★ 基礎編
 A1 10:00~12:00 市役所会議室
 A2 13:30~15:30 またはオンライン(Zoom)

【身近に感じてもらう協同労働】

11/16 ★ 実践紹介編
 B1 10:00~12:00 農水交流センター
 B2 13:30~15:30 またはオンライン(Zoom)

【実際に見てみよう協同労働】

12/3 日 事業所見学会/講座・交流会/相談会
 D1 10:00~13:00 デイサービス みんなのけいこ けう(船守町)

【課題解決に向けて】

12/14 ★ 実践編
 C1 10:00~12:00 農水交流センター
 C2 13:30~15:30 またはオンライン(Zoom)

【医師中村首氏の映画から学ぶ協同労働】

12/21 ★ 講座/相談会
 D2 13:30~15:30 農水交流センター またはオンライン(Zoom)

お問い合わせ 労働者協同組合フーカースコープ・センター事業部
 受付時間: 平日9:00~17:00 ☎ 079(1240)1888

詳細については裏面をご覧ください。

協同労働(労働者協同組合)について学ぶセミナー
地域づくりを仕事にしよう

参加無料 各会場参加者 先着20名まで

「自分が住んでいる地域をもっとよくしたい!」「困っている人たちを助けたい!」という思いを仕事にしてみませんか?
 労働者協同組合とは、働く人が出資して組合員となり、組合員一人ひとりの意見を反映させながら運営し、共に働く新しい組織です。組合員が出資・運営・労働を担い合う働き方を「協同労働」といい、多様な働き方により持続可能な活力ある地域づくりを目指します。次のセミナーを開催しますので、ぜひお申込みください。

【労働者協同組合の概要】 基礎編

1/16 ★ **1/17** ★
 E1 18:30~20:30 E2 18:30~20:30
 市役所会議室203 または オンライン(Zoom)

【医師中村首氏の映画から学ぶ協同労働】

2/10 土 講座/相談会
 F1 10:00~13:00
 市役所会議室203 または オンライン(Zoom)

【実際に見てみよう協同労働】

3/2 土 事業所見学会/講座・交流会/相談会
 G2 10:00~13:00
 小泉民衆館(つくばあらい町)

【身近に感じてもらう協同労働】 実践紹介編

1/30 ★ **1/31** ★
 F1 18:30~20:30 F2 18:30~20:30
 市役所会議室203 または オンライン(Zoom)

【課題解決に向けて】 実践編

2/13 ★ **2/14** ★
 H1 18:30~20:30 H2 18:30~20:30
 市役所会議室203 または オンライン(Zoom)

申し込み
 開催日の前日17:00までにQRコードからお申込みください。

お問い合わせ 労働者協同組合フーカースコープ・センター事業部
 受付時間: 平日9:00~17:00 ☎ 079(1240)1888 E3 tsukuba-koado@rookrow.or.jp

詳細については裏面をご覧ください。

6 つくば市の取組 令和5年度②

基礎編セミナー



講座・相談会



事業所見学



ワークショップ



実践紹介編セミナー

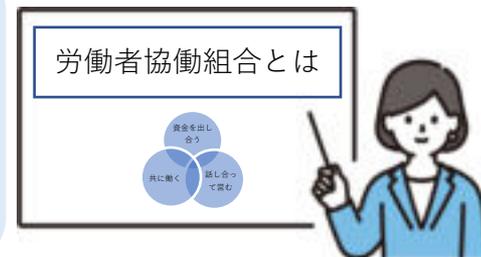


7 今後のつくば市の取組 令和6年度

R6年度（予定） **周知**・**伴走支援**・**運営支援**

1 周知事業

- ・ 基礎編、実践紹介、設立運営セミナーの開催
- ・ 交流会の実施



2 伴走支援

- ・ 対面・オンライン（zoom）での相談窓口の設置

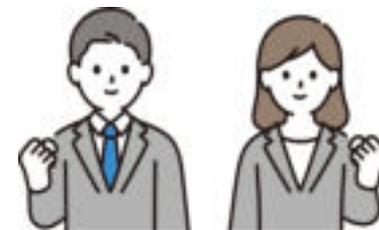


3 運営費補助金の創設

【補助上限額】60万円 【補助率】1／2

組合設立後、最長3年間の運営費（補助対象経費に限る）を支援

※ R6年度当初予算額 180万円（予定）

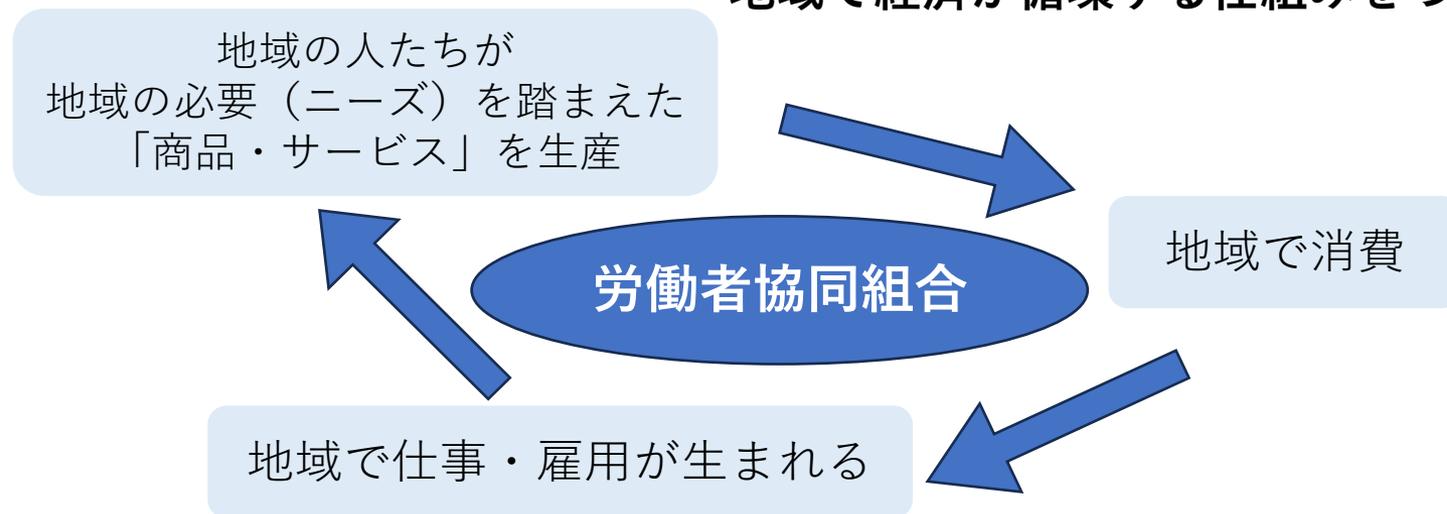


8 労働者協同組合の可能性

世界のあしたが見えるまち

- ・市場の原理に任せていても解決できない問題
(例：貧困・格差などの社会問題、地域に不可欠な公共的なサービスの維持など)
- ・行政ができることの限界

「労働者協同組合」の枠組み → 地域の課題を解決しながら
地域で経済が循環する仕組みをつくる



ご清聴ありがとうございました。

